

カードゲーマー葉子

脚本 APCH E

葉子から父親が子供同士のカードゲームの対戦は強いだけじゃダメだと学ぶ話

「このゲームは見る限り、父親が主役のはず。
（子）みタイトルは「カードゲーマー葉子」じゃないか？
仮に「カードゲーマー葉子」の話をしたとしても、
この父親が主役のはず。
「このゲームは」みたいなタイトルがあるはず。
それが今回の「題名」になるはず。」

登場人物

葉子 (18) ∴ 少年のような格好。カード

ゲームの知識が豊富。

父親 (34) ∴ 成金の実業家で屋敷に住ん

でいる。

息子 (10) ∴ 父親にカードゲームを始め

たいと言う。

少年 A (10) ∴ 聡史の級友。カードゲーム

をしている。

少年 B (10) ∴ 聡史の級友。カードゲーム

をしている。

葉子 「何ですか？」

父親 「ふざけているのか？　こんなの値段
が高くて派手なカードが入っただけのこけ
おどしじゃないか！　このカードゲームは
やったことあるので解るんだぞ！　私を物
の価値の解らん金蔓だと思って馬鹿にして
るのか！」

下手な説明せり？

ここ金カードで
伝わります

葉子 「子供らしくて良いと思いますが？」

父親 「いいかげんにしろ、まともなのを出
さないとなたき出すぞ！」

バッグから別のカードの束を差し出す
洋子。

葉子 「では、こちらを。流行を押さえた一
品です」

受け取って中身を確認する父親。

父親 「ふん、まともじゃないか、なぜこっ
ちを最初に出さない？」

葉子 「私は前のデッキの方がいいと思うか
らです」

父親 「貴様、舐めてるのか？　どう考えて

もこっちだろうが！」

葉子 「ではこうしましょう、前のデッキを
一週間使い、その後、後のデッキを一週間
使ってください。そして気に入った方をお
買い上げください」

父親 「何でそんな結果の解りきったことに
手間かけねばならんだ！」

葉子 「では、さらにこうしましょう。もし、
お試し頂いた後でも後のデッキの方がよけ
れば、それはタダで差し上げましょう」

父親 「貴様、私をからかっているのか？

はん、いいだろう、ただし、それではこち
らに有利過ぎる賭けというものだ、もし貴
様の言う通り、前のデッキの方がいいなら
ば倍の値段で買ってやろう！」

葉子 「では契約成立です」

○翌日、学校、教室、中

カードの束を突き出し子供Aと子供B

「前のデッキは、
金と、かへまとか、
つりやばい？」
「金と、かへまとか、
つりやばい？」

に見せる息子。

息子 「じゃーん！俺もデッキ手に入れたぜ」

子供A 「まじか！早速対戦しようぜ！」

○屋敷、食堂、中、夜

食事をする父親と息子。

息子 「お父さん！カードゲームやってみ

たよ！初めてだったけど何度か勝てた

よ！すごい面白いね！」

父親 「そうかそうか」

息子 「もう一個のデッキはもっと強いんで

しょ！僕、早くそっちでしたい！」

父親 「一応約束だからな。もう少し待て」

息子 「解ったー！」

○翌日、後、学校、教室、中

カードゲームで対戦する息子と子供A。

カードゲームは、カードを引く、打つ、取る、捨てる、などの動作を繰り返して進んでいく。カードゲームは、カードの強さや組み合わせによって勝敗が決まる。カードゲームは、カードの強さや組み合わせによって勝敗が決まる。

カードゲームは、カードの強さや組み合わせによって勝敗が決まる。カードゲームは、カードの強さや組み合わせによって勝敗が決まる。

息子 「俺の勝ちい！」

屋敷の
食卓を
はしに
するよ

○二日後、屋敷、食堂、中、夜

食事をする父親と息子。

息子 「お父さん！ 五分五分とまでは行かないけど、結構勝てるようになったよ！

カードゲームってこんなに楽しいんだね」

父親 「父さんも昔、少しだけやっていたが中々楽しめたよ」

息子 「ねえ、もういいでしょ！ もう一個のデッキ使わせてよ！ 我慢できない！

僕もっと強くなりたい！」

父親 「ふん、今日で四日目か、まあ、こんなもんだろうな。よし、食事が終わったら渡してやる」

息子 「お父さんありがとうー！」

○翌日、学校、教室、中

カードの束を突き出し子供Aと子供B
に見せる息子。

息子 「じゃーん！ これを見ろー！」

○屋敷、食堂、中、夜

食事をする父親と息子。

息子 「お父さん！ あのデツキ、超強い
よ！ 初心者なのに僕に誰も勝てない！
クラスで一番強くなっちゃった！」

父親 「ほう、そうか。まあ、当然だろう
な」

息子 「早く明日にならないかな！ 対戦す
るのが待ち遠しいよ！」

父親 「あの小娘め、偉そうなと言って言
たがほらみる、こっちの方がいいよな？」

息子 「うん！」

○翌日、学校、教室、中

カードの束を突き出す息子。

息子 「ねえ、勝負しようぜ！」

眉をひそめ顔を見合わせる少年Aと少年B。

○屋敷、玄関、中

帰って来た父親を迎える泣き顔の息子。

息子 「……お父さん」

父親 「どうしたんだ！ いじめでもあったのか？」

息子 「前のデッキ、返してー！」

父親 「どういうことだ？ あんなに気に入ってたじゃないか？」

息子 「……お前と対戦しても面白く無いって誰も対戦してくれなくなっちゃった……」

父親 「なん……だと……」

息子 「……全然勝てないから嫌だって……」

父親

「……」

父親 「……そうか……そういう……ことか

⋮

父親

「……」

息子 「お父さん？」

頭をかきむしったあと、ため息をつく

父親。

父親「……解った、前のデツキを返す。山

川さんからはそっちを買おう……」

息子 「うん！」

財布から何枚もの一万円札を出して子

供に渡す父親。

息子 「何これ！」

6
1
2
11
11
7
4
9
12
17
18
?

父親 「デツキの代金だ。お前から渡してく

れ
└─

息子 「これ！ 倍の値段どころじゃない

よ!
「」

父親 「…………それくらい渡さないと私の気が

すまん……」

息子「……」

ため息をついたあと天井を見上げる父
親。

○هندロール

にやぶるから〜

サキナはどこの誰なの？

サキナ

サキナ 「その金じゃ足りないよ」

父 「なせだ！ 約束の倍だよー」

サキナ 「（一枚のカードをサキナ）」

父 「……勉強代、というのか……」

サキナにサキナにサキナに

カード「一から十まで」

サキナ 「このカードは、サキナに
オキにするべきじゃないの？」

どい
アキナ-4
アキナ-4